

安全の確立を基礎に
JR連合への総結集と
政策課題の解決・前進を図り
JR産業の持続的成長と
組合員・家族の幸せを実現しよう
<https://www.jr-rengo.jp>



JR連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階
TEL (NTT) 03-3270-4590
FAX (NTT) 03-3270-4429
1部20円 (但し組合費に含む)
●発行者/上村良成 ●編集者/宮野勇馬



貨物鉄産労で若手社員が次々と決断 東海地区本部で加入

8月24日、JR貨物労組 (JR総連) を脱退していた元組合員が、貨物鉄産労へ加入した。JR連合に集う全国8万5千人の仲間は、勇気ある決断を心より歓迎する!

同世代の若い仲間が次々に加入していることを心強く思うとともに、貨物鉄産労・JR連合、そしてJR連合東海地方協議会に集う多くの仲間の実際の取り組みを見て、聞いて、感じて、考えた。結果、貨物鉄産労に魅力を感じた、と新たな仲間は語った。まさに、JR連合がめざす理念の「出会い、ふれあい、語り合い」が体现されたといえる。

全国の良識あるJR貨物労組の組合員の皆さん、未加入者の皆さん! ホームページを是非ご覧いただき、明るく前向きで、未来志向の貨物鉄産労への加入、相談をいつでもお待ちしております。

**貨物鉄産労とともに、
前へ前へ歩んでいこう!**



池之谷議長から金子大臣に要請書を手渡す (8月28日)

交運労協は8月28日、金子恭之国土交通大臣との意見交換会を開催した。JR連合からは、交運労協副議長の上村良成会長、幹事の大野友和鉄構労中央執行委員長 (JR連合特別執行委員)、事務局として福森敬和事務局次長 (JR連合特別執行委員) が参画した。意見交換会では、辻元清美交運労協政策推進議員懇談会会長 (21世紀の鉄道を考える議員フォーラム所属、参議院国土交通委員長) も同席し挨拶を受けた。JR連合からは、喫緊の課題をはじめ、鉄道産業の未来を展望した意見・要望を国土交通大臣に要請した。

JR産業の責任産別として 政策実現をめざす

意見交換会の冒頭、池之谷副交運労協議長が挨拶し、担い手不足の課題解決や令和8年熊本地震に言及した。とりわけ令和8年熊本地震については、需要の急激な落ち込みを危惧してJR連合が交運労協へ強く働きかけたことが奏功し、「被災地の再建とともに」九州ふっこう応援割を最大限活用したビジネス・観光需要回復への迅速な対応をお願いする」と強く要請した。

続いて、各加盟産別から

の発言では、JR連合から上村会長が震災対応・支援への御礼を述べた後、「鉄道の運賃・料金制度について、インフレ等に柔軟に対応可能な更なる改正が必要」「通学定期に係る事業者負担分はJR旅客6社で数百億円規模にのぼり、支援が必須」「JR二島・貨物の経営自立には二島・承継特例等関係税制が不可

欠。特に北海道は貨物鉄道を踏まえた鉄道のあり方をグランドデザインを国が示すべき」と国土交通省へ対

望を求めた。

また、大野鉄構労委員長は「整備新幹線の取り組みのより一層の推進と建設業に従事する者へのカスハラ防止の必要性」「観光立国推進に資する新幹線の有用性」について働く立場からの現状と意見を発言した。金子大臣をはじめとする

国土交通省幹部からは、課題意識を踏まえた対応や支援の継続について検討していく旨の回答があった。JR連合は、引き続きJR産業の責任産別として、産業の将来展望を切り拓くべく、交運労協・JR連合の政策実現に向けた取り組みを展開していく。

JRグループ労組連絡会第34回総会 安全安心で将来に 希望が持てるJRグループの創造へ

JRグループ労組連絡会は8月28日、大阪市内で第34回総会を開催し、向こう1年間の活動方針を決定するとともに、新役員体制を確立した。

冒頭、幹事を代表して挨拶した海上弓彦代表幹事 (ジェイアール西日本伊勢丹労組) は、「安全の確立」「組織強化・拡大」「春季生活闘争」「政策課題の抽出と解決」について所信を述べ、「変えられる未来がある、変えていくための運動が必要だ」と強い思いを訴えた。

また、JR連合を代表して挨拶した羽野敦之副会長 (JR西労組中央執行委員) は、最近のJR連合の取り組みを紹介するとともに、「JRグループ労組連絡会の強い絆を活かして、様々な課題解決に取り組んでほしい」と期待を述べた。その後、幹事が提案した活動方針案に対し、3人の総会委員が「安全」「組織」「春季生活闘争」「政策」「財政」に関して発言し、住吉一家事務局長の答弁を経て全議案が満場一致で採択された。

役員改選では、新たに岩田久氏 (JR西日本メンテック労組) を代表幹事とする新体制を確立した。

分科会別討議で

業種別の政策課題を抽出

総会の終了後に開催した分科会別討議では、9つの分科会に分かれて「政策課

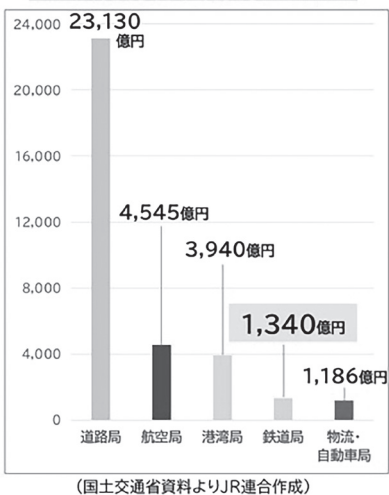
案の抽出と解決」を行うべく議論した。

JR連合は、産別に加盟するメリットとして労使では解決できない課題の抽出と解決に取り組んでおり、各分科会からは税制・社会保障・各種法規制の見直しなど、様々な課題が報告された。



グループ労組の絆を活かし団結がんばろう

2027年度予算 概算要求(国費の比較)



税制改正要望においては、今年度末で期限切れとなる

二島・承継特例の5年間延長や土地引取特例の4年間延長、低炭素化等に資する旅客用新規鉄道車両に係る特例措置の延長といった、JR連合が求めてきた内容が反映された。(要求・要望項目は、右下囲み)

令和9年度予算概算要求・税制改正要望
JR連合が要望した内容が反映

令和9年度予算概算要求・税制改正要望
JR連合が要望した内容が反映

令和9(2027)年度予算概算要求・税制改正要望

〈予算概算要求〉

【鉄道局】

- ◆鉄道ネットワーク整備の推進
- 整備新幹線の整備の推進
- ◆地域交通ネットワークの再構築の推進
- ローカル鉄道の再構築に対する支援
- 地域鉄道の安全性・利便性の向上の促進
- ◆防災・減災、国土強靱化への投資の加速
- 耐震・豪雨・浸水・老朽化対策の推進
- 鉄道の災害復旧の支援
- ◆鉄道分野におけるGX、DXへの投資の加速化
- 物流革新に向けた貨物鉄道ネットワークの強化と更なる活用

【物流・自動車局】

- ◆「総合物流施策大綱」を踏まえた物流革新の抜本的強化
- 物流の生産性向上・商慣習の見直しと人材の確保
- ◆自動車運送業及び整備業における人材確保等の推進
- 旅客自動車運送事業における人材確保支援事業
- 自動車整備業の人材確保・育成の推進
- ◆自動運転社会に対応したDXの推進等
- 高度安全運転支援システム普及促進事業 (経済産業省連携事業)

〈税制改正要望〉

【鉄道局】

- JR北海道、JR四国及びJR貨物に係る特例措置 (二島特例・承継特例等) の延長
- 鉄道・運輸機構がJR二島・貨物の不要土地を取得する場合の特例措置の延長
- 鉄軌道用車両等の動力源に供する軽油の免税措置の延長
- 鉄道事業者等が取得した車両の運行の安全性の向上に資する償却資産に係る特例措置の延長
- 鉄道事業再構築事業を実施するローカル鉄道の資産取得等に係る特例措置の延長
- 低炭素化等に資する旅客用新規鉄道車両に係る特例措置の延長
- 鉄軌道駅のバリアフリー施設に係る特例措置の延長
- 鉄道の豪雨対策の促進に係る特例措置の延長
- 鉄道の耐震対策の促進に係る特例措置の延長
- 耐震対策により取得した鉄道施設に係る課税標準の特例措置の延長
- 鉄軌道事業におけるバイオディーゼル燃料活用促進のための所要の措置の延長

【物流・自動車局】

- 自動車関係諸税の課題のあり方の検討
- 電気バス等に係る特例措置の創設
- 先進安全技術を搭載したトラック・バス車両に係る特例措置の拡充・延長



連合・2026平和行動in根室 北方領土の早期返還 (択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島) 日ロ平和条約の締結を

連合は、6月の沖縄、8月の広島・長崎における平和行動のほか、終戦後に旧ソ連・ロシアに不法占拠・実効支配された北方領土の返還を求める根室での平和行動を毎年9月に開催している。

2026平和行動 in 根室は、9月5日に北方四島学習会、翌6日に平和ノサップ集会在開催され、JR連合からは上村会長、谷口昌隆組織局長のほか、JR北労組、JR九州労組の仲間が参加した。

北方四島学習会では、北方四島事業船「えとぴりか」の船内において、「北方四島の自然と領土問題」「海から見た北方領土問題」と題する講演を受けた。

納沙布岬・望郷の岬公園で開催された2026平和ノサップ集会上において挨拶した連合の神保政史事務局長は、「北方四島の早期一括返還と日ロ平和条約の締結による真の平和の実現に向けて粘り強く取り組む」と決意を明らかにした。また、来賓として根室市長らが出席し、感謝と連帯の言葉が述べられた。国後島出身の元島民からは、故郷を思う切実な願いが訴えられた。

最後に、「2026年8月のプーチン大統領による択捉島訪問はロシアによる実効支配を誇示するような行動であり、断じて容認できない」「北方領土問題が解決するその日まで、粘り強く運動を継続していく」ことを力強く宣言した集会を採択し、参加者全員の決意が込められたがんばろう三唱で北方領土の返還を求めた。



北方四島学習会 (9月5日)



教育・広報担当者会議 (9月1日)

「教育・広報担当者会議」にて集合形式で開催することを確認した。

9月1日、教育・広報担当者会議を開催した。教育活動については、第25回青年女性役員研修会を1月中旬に、東京エリ

「教育・広報担当者会議」にて集合形式で開催することを確認した。

9月8日、第1回男女平等参画推進委員会を開催した。

「富士山の森づくりボランティア社会や地域とつながる「JR連合ビジョン」を実践

8月22日、JR連合は「富士山の森づくり」植林ボランティア活動を実施した。本活動は、公益財団法人オイスカが中心となり、山梨県鳴沢村(富士山2合目付近、標高約1500、1700メートル)にお

れた森林約100haの早期再生のため、多様な植生をめぐり5種類の樹木を植樹してきた取り組みであり、JR連合も2007年より協働し実施してきた。

今回は、JR東海ユニオン・JR東海連合、JR西労組、JR四国労組、さらには鉄構労からの組合員、家族を含め、総勢40人が4グループに分かれ、成長

の除伐作業を行った。普段の業務などではあまり扱わないノコギリやカマを使いながら、専門家の指導のもと、安全第一に作業を行った。大きなト

ラブルなく作業を終え、その後には交流バーベキューを行い、懇親を図った。

本活動は、来年から第3期として新たな活動がオイスカにおいて検討されている。JR連合は、「JR連合ビジョン」で掲げるとおり、引き続き、社会とつながり、地域とつながり、他産業・労働組合の仲間とつながっていく。

「たすけあいの輪をむすぶ」こくみん共済 coop は、次のステージへ

「たすけあいの輪をむすぶ」こくみん共済 coop は、次のステージへ

「たすけあいの輪をむすぶ」こくみん共済 coop は、次のステージへ

「たすけあいの輪をむすぶ」こくみん共済 coop は、次のステージへ

「たすけあいの輪をむすぶ」こくみん共済 coop は、次のステージへ

「たすけあいの輪をむすぶ」こくみん共済 coop は、次のステージへ

「たすけあいの輪をむすぶ」こくみん共済 coop は、次のステージへ

「たすけあいの輪をむすぶ」こくみん共済 coop は、次のステージへ

「たすけあいの輪をむすぶ」こくみん共済 coop は、次のステージへ

2026年度活動スタート「前号の続き」
幅広い活動の展開で
大会方針の具現化に向けて

と次期春季生活闘争において、女性活躍推進法に基づく「一般事業主行動計画」の策定状況や進捗確認を行うなど、女性活躍推進に向けた取り組みを進めることや、連合の各種取り組みに積極的に参画していくこと、さらには、女性役員を対象とした研修会を開催することを確認した。

9月10日、第1回安全対策委員会を開催した。

昨年度は9件の労災死亡事故が発生したことを重く受け止め、引き続き「すべて

のJR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」をテーマに取り組みを確認した。

また、「安全指針の改訂」を進めることや、「安全意識の浸透」をテーマにした第14回安全シンポジウムを開催すること、その内容について議論を行った。

した苗木を獣害から守るためのネットの張り直し作業や、苗木に陽を当てるための除伐作業を行った。普段の業務などではあまり扱わないノコギリやカマを使いながら、専門家の指導のもと、安全第一に作業を行った。大きなト

ラブルなく作業を終え、その後には交流バーベキューを行い、懇親を図った。

本活動は、来年から第3期として新たな活動がオイスカにおいて検討されている。JR連合は、「JR連合ビジョン」で掲げるとおり、引き続き、社会とつながり、地域とつながり、他産業・労働組合の仲間とつながっていく。

「たすけあいの輪をむすぶ」こくみん共済 coop は、次のステージへ

「たすけあいの輪をむすぶ」こくみん共済 coop は、次のステージへ

「たすけあいの輪をむすぶ」こくみん共済 coop は、次のステージへ

「たすけあいの輪をむすぶ」こくみん共済 coop は、次のステージへ

「たすけあいの輪をむすぶ」こくみん共済 coop は、次のステージへ

「たすけあいの輪をむすぶ」こくみん共済 coop は、次のステージへ

「たすけあいの輪をむすぶ」こくみん共済 coop は、次のステージへ

「たすけあいの輪をむすぶ」こくみん共済 coop は、次のステージへ

「たすけあいの輪をむすぶ」こくみん共済 coop は、次のステージへ

こくみん共済 NEWS

「たすけあいの輪をむすぶ」
こくみん共済 coop は、
次のステージへ

公式キャラクター
ビットくん

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済〈全労済〉

全国労働者共済生活協同組合連合会

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

東海地協第35回定期委員会
JR産業の持続的成長と
組合員・家族の幸せを実現しよう

JR連合東海地方協議会は、7月22日、名古屋市内において第35回定期委員会を開催し、東海エリアのグループ労組を含めた各単組から50人超が集結の

「たすけあいの輪をむすぶ」こくみん共済 coop は、次のステージへ

「たすけあいの輪をむすぶ」こくみん共済 coop は、次のステージへ

「たすけあいの輪をむすぶ」こくみん共済 coop は、次のステージへ

「たすけあいの輪をむすぶ」こくみん共済 coop は、次のステージへ

半田議長の音頭で、組織一丸となって運動を進める決意を込めて、団結がんばろう

局長(JR

「たすけあいの輪をむすぶ」こくみん共済 coop は、次のステージへ

「たすけあいの輪をむすぶ」こくみん共済 coop は、次のステージへ

「たすけあいの輪をむすぶ」こくみん共済 coop は、次のステージへ

「たすけあいの輪をむすぶ」こくみん共済 coop は、次のステージへ

「たすけあいの輪をむすぶ」こくみん共済 coop は、次のステージへ

もっとつながろう
グループ労組めぐり

私たちはジェイアール東海コンサルタンツ労働組合は、ジェイアール東海コンサルタンツ株式会社に働く組合員によって構成される組織です。組合員一人ひとりが健康で安心して働き、やりがいを持って活躍できる職場づくりをめざし、日々活動しています。

当社は、JR東海グループ唯一の建設コンサルタントとして、調査・計画から設計、施工監理、維持管理、ICT活用まで幅広い事業を展開しています。鉄道インフラの安全・安定輸送を技術面から支えるとともに、官公庁や民間企業などへも事業領域を広げ、社会基盤の発展に貢献しています。

私たちは、会社の発展と組合員およびその家族の幸福の実現を両立させることが重要であると考えています。そのため、労使協調を基本に、労働条件の向上や職場環境の改善、福利厚生の実施、安全で働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

働き方や価値観が多様化する今日においては、組合員一人ひとりの声に真摯に耳を傾け、多様

ジェイアール東海
コンサルタンツ労働組合

な働き方やライフスタイルに対応した職場環境づくりがこれまで以上に求められています。今年度も会社との建設的な対話を重ねながら、「健康で明るく働きがいのある職場」「かけがえのない会社」の実現に向け、着実に歩みを進めてまいります。

今後ともジェイアール東海コンサルタンツ労働組合をよろしくお願いいたします。